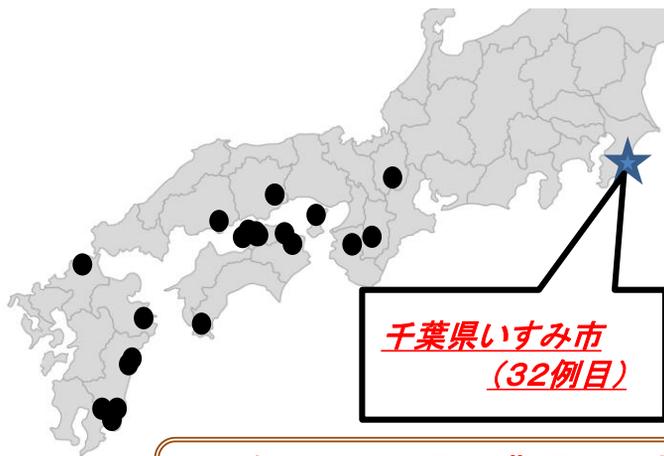


## 千葉県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの 疑似患畜確認！（国内32例目）

12月24日、千葉県いすみ市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI H5亜型）の疑似患畜が確認されました。国内32例目の発生となります。引き続き野鳥・野生動物侵入防止や、石灰散布等による消毒などの発生予防対策の徹底をお願いします。

愛玩用の家きん飼育者のみなさまにおかれましても、消毒の励行をお願いします。



### ★32例目

#### 【農場の概要】

- ・農場所在地 千葉県いすみ市
- ・飼養状況 採卵鶏 約116万羽

#### 【経緯】

- ・12月23日、死亡羽数増加の通報を受け千葉県が立入検査を実施し、簡易検査で陽性を確認。
- ・12月24日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。

**これまでに12県31農場で発生が確認され、疫学関連農場含め約348万羽以上の鶏が殺処分されています。**

▶家きん舎には様々な経路からウイルスが侵入します。今一度、点検・確認と補修をお願いします。

- ✓ 防鳥ネットなどによる野鳥やネズミ等の家きん舎への侵入
- ✓ 農場に入る車両の徹底消毒
- ✓ 家きん舎ごとに、専用の長靴や作業服の着用
- ✓ 家きん舎に出入りする時の手指消毒
- ✓ 家きん舎に入る人や物品の徹底消毒
- ✓ 踏み込み消毒槽は、消毒薬が汚れたら交換



▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へ通報を！